

市民ネットワーク 市議会速報

2022年
4月4日発行

連絡先：さくら・市民ネットワーク
電話：043-462-0618
FAX：043-489-0797
メール：news@sakura-siminnet.com

会派 市民ネットワーク

川口えみ 松島こずえ 五十嵐ともみ



2月市議会 (2/21～3/22)、3月臨時議会 (3/28)

ここが問題！2022年度予算

◆ふるさと広場～草ぶえの丘 (飯野II-31号線)

ふるさと広場から草ぶえの丘へ抜ける、新しい道路建設事業が進んでいます。山林を切り崩す大がかりな工事の総事業費は9億8200万円。今回の予算には、道路用地購入費等2500万円が含まれています。既存の道路が複数あり、不要不急の大型工事はやめるべきです。

◆公園整備事業

ふるさと広場 (今回の予算1100万円)、佐倉城址公園 (1200万円)、(仮)西部自然公園 (720万円) は、いずれも用地購入や整備関連の予算です。どの事業もどのように活用していくかの具体策がなく、市民への公開・説明もないまま用地買収が先行しています。市民生活が苦しい中、このような税金の使い方は到底理解が得られません。用地購入する前に、計画の見直しを行うべきと反対しました。

◆市民活動の予算はゼロ

毎年予算計上されていた、市民参加の消費生活展80万円や、志津公民館祭20万円の予算が今年は両方ともゼロになりました。長年市民が持ち出しをしながら、地域活性化等のために頑張ってきた少額予算は削られ、新佐倉図書館建設や上記の大型土木事業に予算を湯水のごとく使う市の姿勢に疑問を感じます。

◆ペットボトルの回収方法

4月からごみ集積所回収が始まり、その他プラの袋に入れて出すことになりました。回収後、業者がペットボトルを手作業で取り出さなければならず、費用も2800万円増額。ところが、4月から国のプラスチック新法が施行され、プラスチックごみの扱いが変わります。ペットボトルの出し方や佐倉市の回収方法も変わる可能性があり、さらに混乱が予想されます。



市のミスで5億3千万円を国に返還

コロナ交付金とは

コロナ感染症の影響で、市民の生活や仕事に大きな影響が出ています。その対策として、国から市町村に交付金が配分されています。佐倉市の2020年度分は約18億8600万円。この交付金で子育て世代や困窮者、介護事業者、中小事業者などに対し、様々な支援事業を行いました。

繰り越されなかった！

2020年度中に終わらない事業があったため、翌年度への繰越手続きを行う必要がありました。ところが、1年経過した今年2月28日、繰り越されていないことが判明。なんと、思い込みによる確認ミスや決裁が抜けていたりなど、さまざまな事務手続きによるものでした。複数で

チェックする体制がないことが大きな原因です。結局、繰り越すべき5億3090万円が繰り越せなくなり、そのまま国に返還しなければなりません。

早急に再発防止策を

返還するためには、市の貯金にあたる財政調整基金を取り崩すこととなります。市民の大切な税金が、こんな初歩的なミスで消失するのは言語道断です。

西田市政で2回目の不祥事です。早急に責任のあり方、及び再発防止策を示すよう求めました。



安全神話を広げる放射線副読本

「放射線副読本」は、昨年12月に文科省から各学校に直接配布されました。内容も安全面を強調したものになっています。

副読本とともに届いた復興庁の「ALPS処理水について」というチラシは、さらに問題です。ALPS処理水 (汚染水) の海洋投棄について、トリチウムはALPS処理では取り除かれないこと、薄めて海に流しても放射性物質の総量は変わらないので危険性が減るわけではないこと、福島県漁連をはじめ全国の漁業関係者が猛反対していることなどが、全

く抜け落ちています。また、陸上保管用のスペースはまだ十分あり、モルタル固化処理技術など、今後、新技術の開発も可能であることなども一切書かれていません。このように偏った非科学的な副読本やチラシを子どもたちに配ることは、問題です。以上の点から意見書を提出しました (別表参照)。

放射線の危険性について、子どもたちに正確な情報を伝え、子どもが自分の頭で考えるような指導をしてほしいと訴えました。



HPV(子宮頸がん)ワクチンの積極的勧奨再開



HPVワクチンは2013年に小6～高1女子が定期接種の対象となりましたが、直後に重篤な副反応被害が頻発し、個別に予診票を郵送して接種を呼びかける「積極的勧奨」を中断しました。

しかし、4月から積極的勧

奨が再開されました。このままでは被害者の増加が懸念されます。市が今まで行ってきた、窓口でワクチンのメリットデメリットをしっかりと説明してから、予診票を手渡す方式を継続すべきです。

県・市議会報告会

5月21日(土)13:30～スペース結
どなたでもご参加ください。

市民ネットワーク (五十嵐、川口、松島) 提出の意見書

	医学部入学定員削減の方向性を見直し、医療現場、地域医療の実態に即し、医師数を OECD 平均以上の水準とするよう求める意見書	事実を正確に伝えていない放射線副読本、及び復興庁チラシを回収し、今後小中高校への配布を中止することを求める意見書	日米地位協定の抜本的改正を求める意見書
賛成	ネット、共産党、オンプズ、稲田、玉城	ネット、共産党、オンプズ、稲田、玉城	ネット、共産党、オンプズ、稲田、玉城、高橋
反対	さくら会、公明党、自由民主さくら、高橋	さくら会、公明党、自由民主さくら、高橋	さくら会、公明党、自由民主さくら

さくら会(中村、櫻井、石渡、平野、高木、爲田、敷根、岡野、密本、斎藤(明)) 公明党(岡村、久野、鍋田、押木)、自由民主さくら(山本、徳永、石井、齋藤(寛)) 共産党(萩原、木崎) ひまわり会と市民オンプズマン(藤崎、宇田)